

地域・仲間とともに

開所2カ月の共同作業所・ルポ

市内で初めての障害者の就労の場「なんごく共同作業所」がオープンして二カ月、これまで養護学校の高等部を卒業した子供たちは、市内に成人の精神障害者や障害者の施設がなく、他



市町の施設も満杯状態で、在宅生活を余儀なくされていた。そのため、せっかく学校で培った生活のリズムや社会への適応力が低下するなどの問題も。このような中で、障害児を抱える父母らの活動

が実って、久礼田の市有地に社会参加の拠点、作業所が完成しました。
月曜日か、金曜日まで、七人の所員（通所者）は病院のガーゼ折りやニラの結束など一日一日を精一

杯、自分たちの城で作業に励んでいます。

あふれる充実感

午前8時15分 指導員が到着。作業所のカギをあけて大掃除の農家から早朝に運ばれてきたニラを中に入れて、作業用のシートを床に広げたりと忙しい。おはようございます。元気なあいさつとともに所員が集まり始めます。みんなで協力して仕事の準備。



1日の始まり。今日休みになっている一人を除いて遅刻もなく、全員が元気に集合。朝気でしばらく休んでいた人も今日は出てきました。所員たちは口々に「元気がよくなりました」とうれしそうに話かけます。
午前8時40分 ラジオ体操。朝礼で当番を確認します。今日の



ニラの結束作業

仕事はニラの結束とガーゼ折り。各自が自分のやりたい仕事を運び、当番一人の「仕事を始めてください」という掛け声で一斉に作業開始。



午前10時30分 午前の休憩。テレビアナウンサーの物まわをしてみんなを笑わせる所員も。
午前の後半の作業が始まります。休憩時間までにはニラの結束が終わり、みんながガーゼ折りにかかります。白ゆり後



待ちに待ったお昼ごはん。当番がお茶を準備し、みんな一緒に

産所から回ってきたガーゼを袋から取り出し、一枚一枚広げる作業。広げたガーゼを二人がかりでピンと伸ばす作業。乾いたガーゼを折る作業。単純な作業ですが、一生懸命取り組まないと外では空き缶つぶしの作業。家庭からお引き取った空き缶をアルミ缶とスチール缶に分け、アルミ缶をつぶしていきます。
一方、指導員は、休憩室で毎週一週間の反省会。所員一人ひとりのこと、作業中の注意点をあちこちの健しへの参加方法、今後の方針などを話し合います。この日話室になったのは、いかに所員の父母に運営に参加してもらおうかと、所員に各自の目標を決めて頑張ってもらおう、ということ。各自の目標については、午後早退で話し合おうことになりました。

に「いただきます」。朝お母さんが作ってくれたお弁当をおいしそうに頬張ります。



午後の作業が始まります。指導員の反省会のときに決めた「」などの意見が出、指導員が調整していきます。



ガーゼ折り

午後2時30分 午後の休み。午後1時45分 午後の後半の作業開始。作業が始まってすぐ電話がかかり、家庭で出た段ボールを運んでくれるとのこと。電話をかけてくれた人と一緒に所員の一人が飛び出していきます。



「さようなら、また明日」

皆の頑張りが励み

指導員の皆さんは「体が弱い所員もおり、初めは休む子もいるのではないかと心配していましたが、みんな作業所ができたことに大喜びで、遅刻もせず、休みも少ないし、明るくなっています。朝作業所に来て仕事の準備をし、ラジオ体操をし、当番がお茶を沸かすことがだんだん当たり前のリズムになってきている。家にいるよりここにきたいと言っている。そんな所員の頑張りが一番の励

みになる」と話していました。

作業の合間にも、高知市の施設を視察してガーゼ折りの新しい方法を教えてもらったり、新しい作業を採ったり、産前産後や各種の催しに参加して運営費を出したりと、無我夢中の中で作業所の運営に頭を悩ましている指導員の皆さん。現在、運営費は、国、県、市の補助金、所員の分相金、催しの利益などでまかなっていますが、維持費や光熱費、所員の給料など、さきさきの状態。三年後には回の補助金が打ち切られるのも頭の痛い問題です。

その一方で、父母の手作り、いろいろな団体からの寄贈や寄付、久礼田の老人クラブからの薬の花など、さまざまな人々に支えられ、また所員同士互いに支え合いながら今日も頑張っている所員の皆さん。一歩一歩自立に向けて、共同作業所の手探りの歩みが続いています。
十二月九日は「障害者の日」。障害者の問題をみんなの問題として、ハンディを負っている人にも平等で、すべての人にとって住みやすい西国市を表現していきたいものです。

これはなんでしょう



答えについての思い出などもお待ちしています。

【しめきり】 12月20日

【あて先】 〒781-0001 西国市大浦甲三〇〇一 南国市広報委員会 親子クイズ係

【賞品】 正解者の中から抽選で5人に図書券を進呈

◎家庭回覧クイズの答えは、虫めがね（天線機・ルーベ）でした。

無届届当選者発表（敬称略）
（応募総数27通）
橋本政光（下野田）
岡崎光枝（久礼田）
森 紀子（泉前町）
前田 徹（下野田）
谷ちさよ（大浦）

お便りの中から皆さんの思い出の一部をご紹介します。

○又は九月十五日敬老の日にくなりました。通夜の席に敬老万寿と記念品の眼鏡が届きました。今でも遠出品のような気がします。

○私ももう年ですので虫めがねが必要な年となりました。いつも愛用しています。

○小さいときいろいろ燃やして怒られた

○内服でよくわからない字が大眼鏡で字典の小さい字がはっきりとわかりますのでおどろきま